

公表：令和 4年 3月 3日

事業所名 児童発達支援センター小鳩園

	チェック項目	はい	どちらともいえない		いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
			はい	いいえ			
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	16	8	4	<ul style="list-style-type: none"> ・なるべく子ども達の過ごしやすいように不要な物はこまめに片付けるように心がけた。 ・登園日によっては多勢になるため、利用時間を分散する等の工夫をしている。 ・日々の施設利用者と、外部の利用（グループ遊びなど週2日程度）があり、体を動かすスペース、部屋の数十分とは言えない。 ・その日の利用人数を調整したり、部屋の使い方を工夫しているが、スペースや部屋数の足りなさを感じる。 ・雨降り等、天候不良で室内活動になる際は、1つの場所に密集しないよう部屋割りをするなど工夫をしている。 ・保育室ではなかった部屋の改修などで環境改善できてはいるが、現状でも人数に対して狭い部屋をパーティションで仕切りなんとか工夫している部屋もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの活動や事業をあらかじめ共有し、活動の調整・空間の使い方や空いたスペースの活用について検討する。 ・適切な療育が可能な適正利用人数の精査が必要。 ・必要に応じた改築、増築の検討。 ・空き部屋の有効活用。 	
	② 職員の配置数は適切であるか	18	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・工夫して対応した。 ・子どもの状態の変化に合わせて、グループを越えて療育にあたっている。 ・個別対応が必要なお子さんに対するフォローが、人員不足で対応しきれっていない。臨時職員が多く、看護師・児童指導員でも正規の専門職員が必要。 ・安全のためサポーターさんを頼み、職員を補ってもらい有り難いが、個別に丁寧な療育をするためには十分な体制とは言えないと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・センター全体として利用児一人一人の理解を共有し、様々な状況への対応、1対1での対応が必要な児童への対応をさらに充実させる。 ・できるだけ見通しを持ったクラスの設定や職員配置をする。 ・職種を超えた職員全体が専門性を高められる研修を企画する。 	

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
業務改善	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	21	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・設備面・バリアフリー化など、改修により多少進んだが、十分ではない。 ・子どもが安心して生活できるよう、場面によってパーテーションを使うなどしている。安心と理解に繋がるような支援グッズを用意し、活用している。 ・障がいの特性が様々で、視覚障害児に合わせたものが発達障害児の刺激になったりする。個々と集団を考慮し、できるだけ環境を工夫している。 ・人手が欲しい時は、フリーの先生にお願いするなど連携をとっているが、それでも厳しいときがある。日々雇用の先生をお願いするなど工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が研鑽をする中で環境構成や構造化の実践へつなげる。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	24	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の老朽化により、寒さが厳しい場所（廊下・トイレ）がある。 ・職員が感染対策をしながら丁寧に清掃をしているが、設備の関係で、心地よく過ごせていない可能性がある。 ・古い場所も多いが、清潔に使用している。 ・子どもが活動する部屋の水道はお湯がほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・照明を随時LED化している。
	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	24	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・親子のニーズを反映させた計画作成、計画に基づく支援の実施、評価と見直し。職員はPDCAサイクルを意識して療育を行っている。 	
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	22	3	1		
⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	15	8	1		<ul style="list-style-type: none"> ・公式ホームページで公開し、施設にも配置している。HPの周知と充実をする。 	
⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	12	9	3	—		

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	27	0	0	・年間計画に組み込まれている。 ・園内研修の内容が充実するよう係を中心に定期的に内容検討を行い、職員のスキルアップに努めている。	
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	27	0	0	・定期的に面談を行い、情報を共有し、支援計画を作成している。 ・適時に懇談する機会を設定し、親子のニーズの理解、課題の整理を行い、分かりやすい計画作成を心掛けている。	
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	25	2	0	—	
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	26	1	0	・子どもの状態から、どんな目標が良いか、どのようにしたら成長を促していけるかについて話し合い、支援内容を設定している。	
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	28	0	0	・保護者と一緒に立てた計画が達成されるよう、日々の療育に反映させるようにしている。 ・支援内容は具体的に保護者も実行しやすいことを考える様にしている。	
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	28	0	0	・グループごとに子どもの姿に寄り添った活動プログラムを、日々立てている。 ・ある程度の見通しとねらいをもって立てる工夫をしている。	
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	24	4	0	・先生同士で連携し、内容を考えている。 ・子どもの様子に合わせている。 ・担当しているグループだけでなく、他グループに対しても客観的な視点から、環境設定、活動内容のアイデアを伝えるなど、協力し実践している。	
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	28	0	0	・必要と思われる経験や内容がどんな環境だったら取り組みやすいか考慮している。	

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	29	0	0		
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	19	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務時間の違いなどで、日々の業務など振り返りの時間を確保できないことがある。 ・できる日できない日とあるので、振り返りを行うよう努力する。 ・各グループ毎どのように行われているかはわからないが、私個人は、気付いた点等をチーフに伝えている。 ・パートの6時間勤務時間では時間がほとんどなく、時間外に振り返りについて話し合う機会を作っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的に振り返りや情報共有する時間を設ける。 ・それぞれの勤務状況の中で振り返りをしているが、その都度、短時間で有効な方法を工夫する。
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	27	1	0	—	
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	28	0	0	—	
関係機関や保護者との連携	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	27	1	0	—	
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	27	1	0	—	
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	24	1	0	・もっと積極的に行えると思う。	
	㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	23	1	0	—	

	チェック項目	はい	どちらともいえない		工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
			はい	いいえ		
関係機関や保護者との連携	②⑤ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	27	1	0	—	
	②⑥ 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	28	0	0	—	
	②⑦ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	21	6	0	・現場のスタッフも意見交換できると良いのではないかと。 ・必要の子には、定期的な交流機会がもっとあるといい。 ・竜北保育園と交流している。 ・保育園と隣接して園庭も共同なので、日々自然な交流がある。合同の行事や個々の交流もあり、恵まれていると思う。	・現場の職員が他事業所との情報共有や研修できる機会を計画する。
	②⑧ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	24	4	0	・必要の子には、定期的な交流機会がもっとあるといい。 ・竜北保育園と交流している。 ・保育園と隣接して園庭も共同なので、日々自然な交流がある。合同の行事や個々の交流もあり、恵まれていると思う。	・今後の竜北保育園との連携・共有を見通した、バリアフリーな施設改修ができるとうれしい。
	②⑨ （自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	16	9	1	・同じ職員でなく、職員が幅広く出席できるといい。	会に出席した職員が必ず資料等を回覧する。
	③⑩ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	26	2	0	・外国の方などは、コミュニケーションの難しさがある。子の様子は写真も使い伝えている。市の通訳を利用しながら定期的に支援会議を行い、共通理解を目指している。	利用状況や形態の伝え方などに工夫が必要。
	③⑪ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	27	0	0	—	
③⑫ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	20	5	0	—		

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	③③ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	27	1	0	・外国の方などの場合、説明をし同意してもらっているが、通訳を通してため、実際の程度理解してもらえない説明ができていないか分からない。	説明が理解につながっているか不明な点もあり、繰り返し、伝えることを心掛ける。
	③④ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	27	1	0	・支援会議や療育スタッフとの相談の中で行っている。	
	③⑤ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	14	9	2	・父母の会からの声があれば支援等できるが、今はあまりない。	待つのみでなく、こちらからの発信も必要か。
	③⑥ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	27	1	0	—	
	③⑦ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	23	4	1	—	
	③⑧ 個人情報の取扱いに十分注意しているか	29	0	0	—	
	③⑨ 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	27	1	0	・外国の保護者には視覚的なものや簡単な日本語で説明している。市の通訳を利用し、通訳から電話で伝達してもらう。	
	④⑩ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	8	11	6	・現在はコロナ禍で地域との交流はできていない。又、母子で居るので、外部の人が入ることには十分な配慮が必要。	

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	④① 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	26	1	0	—	
	④② 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	28	0	0	—	
	④③ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	28	0	0	—	
	④④ 食物アレルギーのある子どもについて、指示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	27	1	0	—	
	④⑤ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	17	7	1	—	
	④⑥ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	26	1	0	・もっと徹底するべきだ。	
	④⑦ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	11	11	2	—	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。